

オンライン資格確認、マイナ保険証アンケート（8/4 現在）

（制度そのものに対して）

- ・保険証を無くす事は、現在の患者の状況からはありえない。在宅の方、お年寄りなど困る方が多数いらっしゃるのでは。
- ・他人の情報が紐づけされるなど、システム全般の不具合が解消されない現状において、国民全体に不信感があるなかでそういった政策を進めるべきではないと考える。
- ・制度の確立から、実施、定着まで急で練られていない。これだけボロボロになっていながら、一旦立ち止まろうとしないのはとんでもない。
- ・全国から保険証について多くの声が上がっているのに国は全く聞く耳を持たず、あくまでも来秋に保険証廃止する事を押し通そうとしているが、そこまで来秋に拘るのには、一体何があるのか？ そのような国の姿勢に不安を感じている。
- ・今のままで大丈夫なようにしてほしいです。"
- ・義務化にする意味がわからない。オンライン化することで必要な機器を揃えるのも無駄な気がする。
- ・いまは大きなトラブルはないが、いつ同じことが起きるのではないかと不安あり。
- ・一枚のカードで全ての自分の情報がわかるということは、自分の証明である。それは必要だと思うが、個人情報の保護や自分の情報で開示したくないものや、情報の更新など、できるのかと思う。保険証が廃止になると、今以上に受診できない人が増えると思うと。紙のものを作って郵送してということにもかなりお金がかかっているのかと思うと、紙もどうかと悩む気持ちもある。
- ・保険証は必要。患者や現場を理解してない。保険証を人質にしている。

（制度設計に対して）

- ・発熱症状の患者がマイナカードのみ持参する事例があった。受付で対応せざるを得なかった。結果としてコロナ陽性であったため、他の患者へのリスクが生じた。"
- ・システムが完全ではないため、マイナカードで受付→カルテにマイナ受付とメモ貼り付け→手入力しているため手間がかかり、うっかりしてメモ貼り忘れそうになることもあるのでやっかいです。
- ・トラブルが多い、確認なども困難な面などあるので義務化にするのならいろいろな面をきちんとしてからにして欲しい。
- ・1回目オンラインで現情報（社保）、2回目旧証持参（国保）で、本人は社保加入かどうか分からない（社保本人でしたが）ということがありました。証の回収がされていない会社の保険加入説明がされていないとオンラインの問題ではないかもしれませんが、全て重なって大変な手間になる。機器の使い方がわからないという方も多く、保険証廃止は厳しいと思う。
- ・当院ではマイナ保険証を使う方が少ないのと、高齢者には誰かが必ず付き添わなければ利用できない。紛失すると再発行に1000円かかるなど、いいことはひとつもない。カードを作っても、暗所番号を忘れてしまう。本当に必要ですかと聞きたい。多額の税金を使ってまでやる理由、国民が納得できる理由を知りたい。みんなポイントに騙されていると思う。ポイントが付かなかっただら、誰も作らなかったのでは？

（認証機器の不備など）

- ・当院は小児科/内科であり、小児科受診の際に小児本人の顔確認が出来なかった事例がある。

生後間もなく作成されているため顔貌が変わるのは当たり前である。パスワードで認証となったが、保護者が管理しているため、本人が認証したとはいいがたい。

- ・マイナカードでは保険情報が取り込まれず。持参の保険証で確認した事例が3例あった。
- ・地方公務員共済でマイナカードで確認できない事例が4～5月頃は多発した。いずれも再診患者であったため保険証を確認させていただいた。
- ・ネットニュースにもなったが、JIS第2基準以降の漢字が反映されていないらしい。今現在でも●になる患者は確認される。

(医療保険制度の実態に合っていない)

- ・健康保険証の廃止は公費をお持ちの方はどうすればいいのかなど、問題が沢山あり反対です。
- ・医療現場では、高齢者も多い。これまでの保険証は、これまで通り運用すべき。自治体単独の医療券などは、オンラインに乗らないので、結局窓口で確認をおこなわなければならないので、2度手間になるだけだ。現場がやりやすい方法でなければならない。"
- ・公費の確認が別になっているのも大変。保険証廃止になったらオンライン機器も1台じゃ足りなくなる。
- ・オンライン資格確認を実施しても、その方の公費、障害が反映されないのは落とし穴だと思う。
公費証は登録されていないので、結局オンラインで確認しても紙の証書も確認しなければいけない。

(窓口での手間増大、混乱)

- ・現在受付する機械も1台しかないため混雑時など、スムーズに受付できなくなるかもしれない。
- ・紙の保険証が使いえなくなったら、現場は更に混乱し、患者さんが不利益を被ってしまいます。
- ・マイナンバーでの資格確認は本人に機器操作していただく必要があるが、お年寄りや車いすの方は機器操作が困難。そういった場合の対応に今後苦慮すると思われる。それに加え在宅診療や今後予定しているオンライン診療の方の資格確認をどうするかなども課題。
- ・マイナンバーカードの取得はあくまで任意。取得強制してはいけないと強く思う。資格認証でデジタル操作になれていない方は操作がスムーズにいかない。職員のフォロー必要でも、操作フォローもできない。(どこまで画面見て良いのかわからない)
- ・患者様よりマイナ保険証の機械の通し方や使い方を教えて欲しいと言われる場面多く業務の支障となっている。9割以上がまだ保険証を利用している為、廃止となると受付に負担がかかることが予想される。

(個人情報安全性への不安、情報管理への不安)

- ・紛失した時に個人情報が漏れるかもしれないので心配。
- ・カードは便利かもしれないが、国に管理されているようで怖い。

(介護現場、在宅診療現場の声)

- ・健康保険証廃止になったら、施設入居者がこれまで通りに適切に医療にかかる事が出来るのか心配である。家族の負担が増えるのではないかと、という点も心配。"
- ・訪看STに機器設置はしていません。届け出上必要な場合は、併設医療機関のを使わせてもらおうと思います。
- ・施設入居者にとって、マイナ保険証は、本人確認、更新手続き、保管責任等、問題点があります。現在の保険証廃止は、とんでもないことで、ありえません。絶対反対です。

- ・現在施設で保険証を預かっているが、マイナンバーカードに一体化されたら、施設では預かれない。
- ・マイナンバーカードの代行申請やカードの管理など、施設では負担が大きすぎて無理。
- ・在宅患者の保険証確認は？デイサービス中に気分悪くなり、受診した場合は？今は医療機関内で確認前提で対応しているが、在宅や施設訪問診療の際は どうやって確認していくのか。寝たきりや認知症にかたが対応できるのか？また設備投資して対応できるようにしないといけないのか。疑問点が多すぎる。"
- ・もっと時間をかけて行うべき。高齢者施設などの実情を把握し、健康保険証の使用も認めるべきだと思います。
- ・在宅での確認ができない。どうしたらよいか。
- ・便利になる事は良いなと思いました。しかし、在宅で医療を受けている方の健康保険証の情報を、今まで写真をとっていたが、今後マイナ保険証になった時、どうしたらいいかと思いました。

(高齢者など情報弱者へのしわ寄せ)

- ・健康保険証を廃止することにより困る高齢者などが必ず出てくると思う"
- ・健康保険証を紐づけることは、高齢の人にはかなり負担がかかります。
- ・高齢者にもわかりにくい仕組みだと思います。義務化には反対です。
- ・マイナ保険証の手続きは高齢者が分かりにくく、廃止までできるか不明な状態ですすめてよいか疑問である。また個人情報の問題なく保護されるかシステムが十分か心配。
- ・マイナ保険証は高齢者だと自分で手続き出来る人が少なく、特に身寄りのない方は難しい。健康保険証を廃止されると、マイナ保険証の手続きが難しい人は困るので反対です。マイナカードはトラブルが多く、安心出来ません。

以上